

忠 建 第 862 号

平成20年10月20日

国土交通省 道路局長 様

忠岡町長 和 田 吉 衛



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付、貴発国道企第37号にて依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

大阪府泉北郡忠岡町

地方道(生活道路)の交通事故対策

小さな地域の安全対策の積み重ねは、結果全国的な成果となるのではないかと考える。また、死亡事故だけが大きく取り上げられるが、もうすこしで事故になりかけたとか、小さな接触事故も事故は事故であり、それを少しでも無くすよう、生活道路の交通安全対策に対する交付金・補助金の採択基準の拡大をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

大阪府泉北郡忠岡町

○現状

狭隘な道路の交通安全対策

老朽化した木造家屋が密集している地域が点在している。

○課題

市街地で道路が狭隘なため、物理的にも財政的にも歩道設置が困難。

防災上、道路の幅員が狭く緊急車輛の進入が困難で大火の危険性が高い。また地震等災害時の避難路の確保に懸念がある。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

大阪府泉北郡忠岡町

地域住民の不安等を取り除き、安心・安全な環境を作ることだと考えます。

その対策として、交通事故対策、防災対策がまず挙げられ、日常生活のなかで生活道路は、切っても切れない場所であり、交通安全対策の十分できた道路を通行すること、また、災害時に避難路として確保された道路があることであり、地域の目指すべき将来像のひとつではないかと考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価)

大阪府泉北郡忠岡町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	交通安全対策 既存、新規を問わず汎用されている製品や路面表示への交付金・補助金の採択基準の拡大 災害時等による避難路の確保	物理的な規制だけでなく、視覚に訴えることにより、歩行者、自転車運転者及びドライバー等の意識付けを行う。	